

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和5年度

1 基本情報

公の施設名	杜のホールはしもと、城山文化ホール
指定管理者名	公益財団法人 相模原市民文化財団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）
施設設置条例	相模原市立杜のホールはしもと条例、相模原市立城山文化ホール条例
施設の設置目的	杜のホールはしもと：市民が音楽、演劇等の芸術文化を鑑賞することができる機会及び市民が自ら芸術文化活動を実践することができる場を提供し、もって豊かな市民文化の創造に寄与するため 城山文化ホール：市民が行う様々な文化芸術活動及び交流活動を通して、豊かな市民文化の振興に寄与するため
施設概要	杜のホールはしもと ・所在地 相模原市緑区橋本3-28-1 ・敷地面積 8,626.18㎡ ・延床面積 9,601.10㎡（うちホール専有面積 6,638.14㎡） ・構造 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地下2階地上9階建（内ホール部分：7～9階） ・主な施設 7階 ホール（定員535人：固定席531席、車椅子席4席）、セミナールーム1 8階 多目的室（移動席200席）、練習室1～3、音楽スタジオ、セミナールーム2 城山文化ホール ・所在地 相模原市緑区久保沢2-26-2 ・敷地面積 2,646.05㎡ ・延床面積 1,395.99㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地上2階建て ・主な施設 多目的ホール（可動席296席、段床式ホール又は平土間形式として利用可能）、楽屋1・楽屋2、リハーサル室、ギャラリー、併設駐車場
施設所管課	市民局文化振興課

2 管理実績

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計（人）	177,316	173,656	147,816	42,709	78,317	111,645	123,345
利用料金合計（円）	75,786,811	77,388,229	68,726,962	30,967,962	68,856,531	79,855,444	78,751,913

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
C	指標1と2の達成度の平均が88.0%となっていることからC評価とする。 指標1は目標値を下回るものの、とても満足と回答した人の割合が昨年度より0.8ポイント増となっており、とても満足と回答した人に満足と回答した人を足した割合は97.6%と、満足度は低くないといえる。また、指標2の利用率は昨年度から1.6ポイント減となっている。

指標1	
指標名（単位）	企画提案文化事業来場者の満足度（%）
指標式と指標の説明	指定管理者の企画提案で行う文化事業の来場者の満足度（「指定管理者が行う業務の詳細」に定める事業において回収された来場者アンケートのうち、最も高い満足度を回答した方の割合）を成果指標とする。

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）			76.0	77.0	78.0	79.0	80.0
実績値（%）	77.5	74.6	66.9	59.9	67.2	64.2	65.0
達成度（%）			88.0%	77.8%	86.2%	81.3%	81.3%

※（参考）2番目に高い満足度を含めた場合（とても満足＋満足）

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実績値（%）	97.9	98.7	97.9	98.4	98.3	98.2	97.6

指標2	※感染症蔓延に伴う外出自粛等の影響を受けているため、R3年度は評価対象外とする。
指標名（単位）	杜のホールはしもと（ホール、多目的室）及び城山文化ホール（多目的ホール）の平均利用率（%）
指標式と指標の説明	施設が利用されることにより、市民の鑑賞機会や活動機会が増加し、市民の文化活動が推進されるため、（利用日数・利用可能日数）にて算出された対象施設の利用率の平均を成果指標とする。

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	75.0	76.0	83.0	83.0	84.0	84.0	84.0
実績値（%）	81.9	85.0	83.6	58.3	74.1	81.1	79.5
達成度（%）	109.2%	111.8%	100.7%	70.2%	88.2%	96.5%	94.6%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	達成度が116.67%となっていることからA評価とする。 事業の実施回数、内容ともに充実している。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
なし			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
各施設の規模及び地域性を生かし、伝統文化や優れた芸術作品を鑑賞する機会を市民へ提供する舞台芸術公演事業（15回以上）		杜のホールはしもと： 18回 城山文化ホール： 6回 計 24回	◎
0さいからの栗コーダーカルテットコンサート	6月24日（土）	軽音楽 杜のホールはしもと多目的室 定員 150 2回 139人 147人 子どもと共に楽しめることや0歳から入場可能であることを喜び意見が多数寄せられ、市民の鑑賞ニーズに応えることができた。	
シリーズ杜の響き vol.49 アレクサンダー・ガジェヴ ピアノ・リサイタル	11月3日（金・祝）	クラシック 杜のホールはしもとホール 535 1回 507人 国際的なピアニストの演奏に満足された方が多く、市民に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供できた。	
第23回さがみはら若手落語家選手権第1回予選会	1月13日（土）	伝統芸能 杜のホールはしもと多目的室 180 1回 98人	
第23回さがみはら若手落語家選手権第2回予選会	1月28日（日）	伝統芸能 杜のホールはしもと多目的室 180 1回 173人	
第23回さがみはら若手落語家選手権第3回予選会	2月11日（日・祝）	伝統芸能 杜のホールはしもと多目的室 180 1回 164人	
第23回さがみはら若手落語家選手権第4回予選会	2月24日（土）	伝統芸能 杜のホールはしもと多目的室 180 1回 138人	
第23回さがみはら若手落語家選手権本選会	3月10日（日）	伝統芸能 杜のホールはしもとホール 535 1回 454人 初めて落語を聴く方から毎年楽しみにしてくださる方まで幅広い方々に来場いただき、地域に定着した事業となったことが窺えた。	
シリーズ杜の響き第50回記念公演 バッハ・コレギウム・ジャパン 【利益還元事業】	3月20日（水・祝）	クラシック 杜のホールはしもとホール 535 1回 503人 シリーズ杜の響きの50回記念公演を利益還元事業として実施できた。聴衆のニーズに応え、市民に優れた鑑賞機会を提供できた。	
城山夏まつりプレイベント 「SING/シング：ネクストステージ」 映画上映会	8月18日（金）	その他 城山文化ホール多目的ホール 298 2回 185人	
城山夏まつりプレイベント 「SING/シング：ネクストステージ」 障害者ご招待 映画上映会		186人 夏のイベントとして地域に定着してきており、地元の夏まつりと連携しながら、地域の子どもたちや一人での外出が困難な方に気軽に鑑賞できる機会を提供できた。	
相模原音楽家連盟×もみじホール城山 心を歌にのせて！ ～声楽とオペラの魅力～	2月4日（日）	クラシック 城山文化ホール多目的ホール 定員 238 1回 180人 コンサートの構成や演出等を地元演奏家と協働して制作した。声楽やオペラの魅力が伝わり、来場者から高い満足度を得られた。	

市民自らが芸術文化活動に参加し、相互に交流できる機会を提供するなどの市民の自主的な活動の支援に関する事業（3回以上）		杜のホールはしもと： 23回 城山文化ホール： 10回 計 33回					○
シリーズ杜の響き vol.50 BCJ 関連企画 クラシック音楽入門講座「バッハとたずねるバロック音楽」【第 1 回】	1 月 22 日（月）	クラシック	杜のホールはしもと多目的室	定員 120	1回	98 人	
シリーズ杜の響き vol.50 BCJ 関連企画 クラシック音楽入門講座「バッハとたずねるバロック音楽」【第 2 回】	2 月 27 日（火）			120	1回	96 人	
		クラシック音楽の初心者向けに講座を開催することで、音楽史や作曲家への理解を深め、来場者がコンサートをより楽しむ契機となった。					
出前落語及び八起寄席連携事業	9 月 6 日(水)	伝統芸能	若松児童クラブ	1回	76 人		
	9 月 12 日(火)		えなふる優縁 Days	1回	20 人		
	10 月 6 日(金)		百歳体操愛好会	1回	37 人		
	10 月 16 日(月)		大野児童クラブ	1回	35 人		
	10 月 30 日(月)		宮上児童クラブ	1回	35 人		
	12 月 26 日(火)		上溝南児童クラブ	1回	57 人		
	1 月 4 日(木)		中央児童クラブ	1回	38 人		
	1 月 22 日(月)		新磯児童クラブ	1回	68 人		
	3 月 18 日(月)		八起寄席実行委員会	1回	170 人		
		福祉施設等をはじめとした外出機会が少ない市民に落語会を提供する従来の目的に加え、市内児童クラブにも出向き、子どもたちが文化芸術に触れる機会も創出した。					
世界 3 大ピアノのひとつ、ベヒシュタインを弾いてみよう！vol.1	5 月 23 日(火)	クラシック	城山文化ホール 多目的ホール	7組	1回	11 人	
世界 3 大ピアノのひとつ、ベヒシュタインを弾いてみよう！vol.2	7 月 25 日(火)			7組	1回	16 人	
世界 3 大ピアノのひとつ、ベヒシュタインを弾いてみよう！vol.3	9 月 28 日(木)			7組	1回	14 人	
世界 3 大ピアノのひとつ、ベヒシュタインを弾いてみよう！vol.4	11 月 17 日(金)			7組	1回	13 人	
世界 3 大ピアノのひとつ、ベヒシュタインを弾いてみよう！vol.5	1 月 25 日(木)			7組	1回	9 人	
世界 3 大ピアノのひとつ、ベヒシュタインを弾いてみよう！vol.6	3 月 9 日(土)			7組	1回	13 人	
	3 月 10 日(日)			7組	1回	19 人	
		ホールでのベヒシュタイン・ピアノの演奏体験の場を提供でき、市民の文化活動支援につながった。					

自主事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
自動販売機設置	4月から1年	杜のホールはしもと：5台 城山文化ホール：2台 計7台	○

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	達成度が109.9%となっていることからA評価とする。 前年度より0.7ポイント増と高い水準を保っており、円滑な施設運営がなされていると評価できる。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	施設利用者に対するアンケートの実施 調査手法：利用者へのアンケート用紙配布 調査時期：令和5年6月1日（木）～6月30日（金） 配布枚数：234枚（回収枚数234枚、回収率100.0%）
目標値の基準	5段階評価のうち、「とてもよい」、「よい」、「ふつう」と回答した方の割合の合計

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値（%）	95.0	95.8	98.6	99.0	98.3	98.3	98.9
達成度（%）	105.6%	106.4%	109.6%	110.0%	109.2%	109.2%	109.9%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
アンケートBOX	通年	施設にアンケートBOXを設置し、利用者からの意見や要望等を随時受け付けている。 受け付けた内容については会議で共有を図り、対応に努めている。
ホームページ お問い合わせフォーム	通年	施設のHPにお問い合わせフォームを設置し、利用者の方が質問や相談をしやすいような取組を行っている。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
C	全体収支、本体収支がともに赤字、指定管理者本体の決算も赤字となっており、経営状況に若干の懸念があることからC評価とする。施設の収支については、物価高騰の影響を受けている面もあり、やむを得ないものと考ええる。 【選考委員会意見】 改善しているものの赤字解消には至らず。人件費や物価高騰など外部要因の影響もあり、今後の赤字脱出も困難とみられることから、評価Cが妥当。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
収入（a）		242,411	232,605	232,427	
指定管理料		136,865	131,339	131,339	
利用料金収入		68,856	79,855	78,752	
その他の収入		36,690	21,411	22,336	
支出（b）		225,060	238,182	235,068	
人件費		72,568	73,867	75,545	
本社管理経費		6,158	6,466	6,583	
その他の支出		146,334	157,849	152,940	
本体事業収支【(a)-(b)】(c)		17,351	-5,578	-2,642	
自主事業収入（d）		859	1,149	1,271	
自主事業支出（e）		361	439	393	
自主事業収支【(d)-(e)】(f)		498	709	878	
全体収支【(c)+(f)】		17,849	-4,869	-1,764	
備考					

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	履行管理に関するチェックシートを使用した現地調査、指定管理者へのヒアリング	
実施時期	令和6年1月22日	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

令和5年5月に、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行したこともあり、令和5年度の施設の管理運営及び文化事業の実施は、コロナ禍前と概ね同様に行うことができた。

施設管理運営については、施設の設置目的や条例等を十分に理解し、適切な施設利用事務を行い、施設の催し物の情報や空き日の情報をホームページで公開するなど利用者増加に努め、これまで同様に多くの方に利用いただいた。また施設や設備を保つために日常管理を行うとともに、定期保守点検を計画的に実施し、施設を安全に維持することができた。

事業については、杜のホールはしもとでは、ホールの優れた響きや中規模ホール（535席）の特徴を活かした「シリーズ杜の響き」において、オペラ界を牽引する歌姫・森谷真理やショパン国際ピアノコンクール第2位受賞のアレクサンダー・ガジェヴのリサイタルを開催した。また、古典落語の本格派・柳家三三の独演会、多目的室のフラットな空間を活用した「さがみはら 星野富弘 花の詩画展」などを実施した。さらに、杜のホールの看板事業で全国的に認知される「第23回さがみはら若手落語家選手権」を開催し、来場者の投票による予選会及び本選会を経て、優勝者を決定した。その優勝者による「出前落語」では、福祉施設等に加えて新たに児童クラブにも出向き、外出機会が少ない市民や子どもたちの文化芸術に触れる機会の創出に注力した。

城山文化ホールでは、例年無料で実施し人気の高い「在日米軍軍楽隊コンサート」、クラシック音楽入門編としての「相模原音楽家連盟×もみじホール城山 心を歌にのせて！～声楽とオペラの魅力～」、毎回定員を超える応募で人気の「世界3大ピアノのひとつ、ベヒシュタインを弾いてみよう！」など、市民に文化を身近に感じていただける事業を実施した。

また、今期指定管理期間の利益を財源とした事業（利益還元事業）として、次世代を担うスター指揮者鈴木優人と世界最高峰の古楽アンサンブルのバッハ・コレギウム・ジャパンを招いて「シリーズ杜の響き 第50回記念公演」を実施した。

10 所管課意見

施設管理について、利用者満足度も高く円滑な運営がなされていることを評価する。

ホールの利用率は、新型コロナウイルス感染症の影響で大きく落ち込んだ後、回復傾向にあったが、令和5年度は前年度よりも利用率が減少している。まずはコロナ前の数値を目標に利用率向上に取り組んでいただきたい。

事業については、杜のホールはしもとで利益還元として実施した周年事業や絵画展示など充実が図られているが、事業満足度は低下の傾向にあるので、継続して実施している事業のアプローチ方法の見直し等を検討いただきたい。

施設の収支について、前年度に引き続き赤字となっているが、光熱水費をはじめとする物価高騰の影響が続いていることによるもので、やむを得ないものと考ええる。

11 選考委員会意見

杜のホールはしもとのメイン事業として実施しているシリーズ杜の響きは、出演者の人選等も優れており、50回目の記念公演もあった令和5年度は、特に充実した内容となった。成果指標になっている企画提案事業来場者の満足度は低くなっているが、満足度が低くなりやすい若手落語家選手権の予選会が4回含まれていることも要因でやむを得ない面がある。

城山文化ホールで毎年実施している寄席は、高齢者が主な客層となっているが、内容は見応えがあって、様々な世代の人が満足できるものなので、働き世代にもアプローチできれば、今まで少なかった層の獲得も期待できる。

利用者数については、コロナ後回復しているものの、コロナ前の人数までには至らない。コロナ禍に交付されていた補助金がなくなってしまった現状、収支の黒字化については厳しい状況である。

総合評価（自動判定）

B

(55/100)

